

1. 実況上の着目点

- ① 500hPa 5100m以下の寒冷渦に対応してアリューシャンの南を北東進する低気圧と、大陸の高気圧との間で日本付近は冬型の気圧配置となっている。また、日本海～北陸地方に地上のシアーラインがのび、千島近海を低気圧が南東進。
- ② 北日本と東日本日本海側の山沿いでは3時間で10cm程度の降雪を観測。青森県付近には継続して雪雲がかかり大雪警報を発表。アメダス酸ヶ湯では積雪の深さが4mを超え、平年比200%以上となっている。また、北陸地方の平地では雨や雪が降り、地盤の緩んでいる所がある。



主要じょう乱解説図

- ③ 冬型の気圧配置やシアーラインの影響で、全国的にやや強い風が吹き波が高くなっている所がある。

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 4日にかけて、1項①の低気圧はアリューシャンの南に停滞、大陸の高気圧は移動性となって西日本付近に進む。また、3日朝までに日本海のシアーライン上に発生する低気圧が北陸地方に進んで不明瞭になる。日本付近の冬型の気圧配置は4日前半にかけて続き、4日後半は西～東日本では緩む。
- ② 4日にかけて、500hPa 5400m付近で-30℃以下の寒気を伴うトラフが断続的に北日本を通過。850hPaで-6℃以下の寒気は、西～東日本太平洋側に南下。このため、北日本～東日本日本海側の山沿いでは降雪が強まり、西日本日本海側の山沿いでも積雪となる所がある。また、2項①のシアーラインや低気圧周辺では大気の状態が不安定となる所がある。北～東日本では大雪に注意・警戒し、着雪やなだれに注意。西日本では積雪に注意。北～西日本では、落雷や突風、降ひょう、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。北陸地方の平地では3日日中まで雨や雪が降る所があり、土砂災害に注意。
- ③ 5日は、ボツ海付近に発生する低気圧が発達しながら日本海に進む。低気圧に向かう下層暖湿気の影響で、北～西日本では大気の状態が不安定となる所がある。落雷や突風、降ひょうに注意。
- ④ 5日にかけて、冬型の気圧配置や2項①や③の低気圧の影響で気圧の傾きが大きくなり、全国的にやや強い風や強い風が吹き、波が高くなりしける所がある。また、南西諸島では2項①の高気圧の縁を回る吹走・吹続の長い北～東寄りの風によるうねりの影響を受ける。強風や風雪、高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点

総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】

- ① 雨量(06時からの24時間): 多い所(100mm以上)はない。② 降雪量(06時からの24時間): 東北50、北海道・北陸40、関東甲信35、東海30cm。③ 波浪(明日まで): 近畿・中国4、伊豆諸島・北陸・沖縄3m。④ 高潮(明日まで): 大潮の時期。北～東日本では、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無

発表の予定はない。